

2015年度卒業論文

反原発の先の未来
～斉藤和義と反原発～

北海道教育大学教育学部旭川校

教員養成課程 社会科教育専攻 社会学ゼミ

学生番号 2319

工藤 優

目次

はじめに	1
第1章 シンガーソングライター・斉藤和義	
1-1 斉藤和義	2
1-2 デビューから最初のヒットまで	2
1-2-1 僕が見たビートルズはTVの中	2
1-2-2 歩いて帰ろう	3
1-3 人気の上昇と活動休止	3
1-3-1 ジレンマ	3
1-3-2 NOWHERE LAND	4
1-4 復帰から大ヒットへ	4
1-4-1 Phoenix	5
1-4-2 やさしくなりたい	5
1-5 斉藤和義の20年	6
第2章 2つの原子力関連事故	
2-1 東海村 JCO 臨界事故	7
2-1-1 青い光	7
2-2 福島第一原子力発電所事故	8
2-2-1 ずっとウソだった	8
2-3 小括	9
第3章 NUKE IS OVER	
3-1 45 STONES	11
3-1-1 ウサギとカメ	12
3-1-2 桜ラプソディ	12
3-1-3 猿の惑星	12
3-1-4 オオカミ中年	13
3-1-5 雨宿り	13
3-1-6 おとな	14
3-1-7 ギター	14
3-2 MANNISH BOYS	15
3-2-1 カーニヴァル	15
3-2-2 ないない!	15

3-3 紅白歌合戦	16	
3-4 小括	16	
第4章 斉藤和義の「ラブ&ピース」		
4-1 斉藤和義の平和への願い	18	
4-1-1 恋のサングラス	18	
4-1-2 NO!	18	
4-2 斉藤和義の理想とする社会	19	
4-3 小括	20	
第5章 まとめ		21
おわりに・謝辞		23
参考文献・参照 HP		24
歌詞集 (斉藤和義)		26
歌詞集 (MANNISH BOYS)		39
歌詞集 (RC サクセッション)		42

はじめに

私は斉藤和義の大ファンである。テーマ設定の大きな理由もここにある。彼の曲を聴いていると、愛だ恋だと幸せな気持ちになるときもあれば、彼の渾身の怒りに圧倒されるときもある。他のアーティストよりも社会性のあるメッセージが多く込められており、そのベースには「反原発」の思いが見て取れる。

ただ、斉藤和義は原発に対してあまりにもまっすぐな思いを歌っており、それはまったく悪いことではないにも関わらず聴いているこちらがヒヤヒヤしてしまうことがあった。そこで、まずは私自身がヒヤヒヤせずに斉藤和義のメッセージをしっかりと見直すため、そして斉藤和義のその思いの源がどこにあるのかを探るため、このテーマを取り上げることにした。

本論文では、斉藤和義の思いの移り変わりとその背景、そしてそこから見えてくる「理想の社会」はどんなものであるかという点について考察をしていく。

1章では、デビューから現在までの斉藤和義についての歴史をまとめた。これまでの斉藤和義の変化やターニングポイントを再確認する。

2章では、斉藤和義にとって大きなターニングポイントであったと考えられる2つの原子力関連事故を取り上げ、その事故と関係する楽曲について考察する。斉藤和義の「反原発」の最初の部分である、原発とその周囲への怒りについてまとめている。

3章では、東日本大震災と福島第一原子力発電所事故を受けた斉藤和義のさらなる思いについて、アルバム『45 STONES』を中心に考察する。斉藤和義の怒りや無力感、悲しみ、危機感など、あらゆる感情が見て取れる。

4章では、2章と3章で取り上げたことに加え斉藤和義の平和への思いについてまとめ、そこから読み取ることのできる理想の社会について考察をしていく。

そして5章では、斉藤和義の思いや願い、そして斉藤和義に多大なる影響を与えた忌野清志郎の思いや願いを再確認する。

この論文を読むにあたり、まずは『ずっとウソだった』から斉藤の怒りを感じてほしい。

第1章 シンガーソングライター・斉藤和義

1-1 斉藤和義

斉藤和義は、栃木県壬生町出身のシンガーソングライターである。自身の曲の多くを自ら作詞作曲し、時には他のアーティストへの楽曲提供やプロデューサーも行っている。音楽の表現方法は、弾き語りからバンドスタイルまでと幅広い。元々はヴォーカリストではなくギタリストだったということもあり、歌唱力はもちろんギター腕前もかなりのものである。また、ギターやヴォーカル以外にも自身でこなすマルチプレイヤーであり、一人多重録音¹でCD制作を行うことも多い。ソロ活動のほかに、ドラマーの中村達也とのロックバンド、MANNISH BOYSを2011年に結成し、精力的に活動を行っている。

図 1-1 斉藤和義



出所:音楽ナタリー Power Push

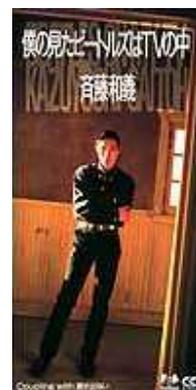
1-2 デビューから最初のヒットまで

1993年のデビューから最初の斉藤和義の代表曲と言われる曲が完成するまでは1年とかならなかった。斉藤はよくインタビューの中で、「自分にとっての今、身の周りのことや日常を歌にしているだけ」と語っているが、デビュー曲からその言葉の通りに斉藤の心の中にあるそのままの思いや身の回りの些細な出来事が表れている。イメージの中で作られたラブストーリーのような曲はなく、ありのままの出来事や思いついたことなどが歌われている。

図 1-2 『僕が見たビートルズはTVの中』のジャケット

1-2-1 『僕が見たビートルズはTVの中』

斉藤和義はTBSのオーディション番組を経て、1993年に『僕が見たビートルズはTVの中』(作詞・作曲:斉藤和義)でデビューを果たした。テレビの中にいるビートルズは社会への反発を歌い、ジョン・レノンが世界平和を歌っているけれど、それを見ている自分や周りの人は「欲しいものならそろい過ぎて時代」の中ですっかり平和ボケしてしまっている、と歌う。デビュー曲からすでに、流行りの曲とは異なる独特の世界観が見られる。



出所: KAZUYOSHI SAITO

OFFICIAL WEB SITE

¹ スタジオミュージシャンではなく、自分自身でヴォーカルからすべての楽器までを演奏し、録音を行うこと。

1-2-2 『歩いて帰ろう』

デビュー翌年の1994年、4枚目のシングルである『歩いて帰ろう』（作詞・作曲：斉藤和義）がヒットした。フジテレビ系の「ポンキッキーズ」でこの曲が流れていたことを覚えている人も多くいるのではないだろうか。また、最近では軽自動車「ラパン」（スズキ）のCMや「FNS27 時間テレビ」（フジテレビ系）でもこの曲が使われており、リリースから20年以上経った今も親しまれている。

この曲からは、斉藤和義特有の「肩の力を抜いた頑張り」が見て取れる。彼にとっては、死に物狂いで焦りながら生活を送るよりも、ゆっくりと歩いて帰る余裕を持てる生活の方が重要なのである。この『歩いて帰ろう』のように、斉藤の楽曲はどこか肩の力が抜けている詩が多く目立つ。

しかしこのヒットで一躍有名になったとはいえ、飛躍を遂げたのは『歩いて帰ろう』のリリースから15年ほど経ってからのことである。

1-3 人気の上昇と活動休止

『歩いて帰ろう』のヒットと楽曲のCD化の方法を変えたことを機に、斉藤和義の人気は確実に高まっていった。リリースするシングルやアルバムは着実にそれまでよりもオリコンランキングの順位を上げた。これを受けて、斉藤の楽曲に込められている思いにも少しずつ変化が見られる。

1-3-1 『ジレンマ』

斉藤和義のデビューのキャッチフレーズは「四畳半じゃ狭すぎる」であった。この四畳半とは、吉田拓郎や井上陽水などが歌うような恋人同士で四畳半の部屋に同棲する貧しいであろう暮らしをテーマとしたフォークソングのことを指している。アコースティックギターとハーモニカで弾き語りのパフォーマンスをするとはいえ、自分の音楽はロックだとする斉藤にとって、このキャッチコピーは本意なものであった。それだけではなく、他者にアレンジされた曲の仕上がりやCDジャケットなどと自分の音楽世界との間に違和感を抱いていたという。そこで斉藤は、5枚目のアルバム『ジレンマ』でプロデュースから作詞作曲、CDジャケットのデザインまですべて自らが中心となって制作を行った。斉藤の一人多重録音でのCD制作の原点はここにある。その結果、それまでのCDの売り上げの中で一番の好成績を出した。この『ジレンマ』というタイトルには、それまでの人に決められたルールでの音楽活動と、自分で決めた自分のやりたい音楽活動との間

図 1-3 『ジレンマ』のジャケット



出所：KAZUYOSHI SAITO
OFFICIAL WEB SITE

で揺れ動く斉藤の気持ちを表しているのではないだろうか。

『ジレンマ』のリリース後も、『歌うたいのバラッド』（作詞・作曲：斉藤和義）などをリリースし、徐々に人気を広げていった。斉藤のロックが世の中に広がってきていた頃、東海村 JCO 臨界事故が発生した。この事故は、後の斉藤和義に大きな影響を与えたといえる。それまで斉藤の楽曲では、斉藤の身近で起きた出来事についての喜びや愚痴などが歌われてきたが、この頃からその対象が身近な出来事だけではなく社会全体も含まれるようになった。この変化のきっかけとなった東海村 JCO 臨界事故について歌った曲については第 2 章で詳しく述べていく。

1-3-2 『NOWHERE LAND』

デビュー 10 年目の 2003 年、斉藤は十二指腸潰瘍に倒れ数か月の活動休止を余儀なくされた。ちょうどその頃にリリースされた 9 枚目のアルバム『NOWHERE LAND』は体調不良のため思うようなプロモーション活動ができず、残念ながら斉藤がこれまでリリースしてきたアルバムの中でワースト 3 の売り上げになってしまった。

ちなみにこのアルバムに収録されている『喜びの唄』（作詞：斉藤和義、作曲：斉藤和義、チャーリー・ドレイン）の MV には、当時まったくの無名だったマツコ・デラックスが出演している。斉藤は出演オファーの理由を「マツコさんが書いた本をたまたま読んで、この人おもしろいなあと思ってオファーした」²とライブやテレビ番組の中で語っている。

図 1-4 『喜びの唄』MV に出演する
マツコ・デラックス



出所：YouTube

1-4 復帰から大ヒットへ

斉藤和義は休養中、事務所からの独立やアルバム制作などのストレスが重なり、音楽活動自体をやめることも考えたという。そんな中、兄弟デュオの平川地一丁目のプロデューサー依頼や夏の音楽フェスでの手ごたえをきっかけに本格復帰を決めた。

当初は「タイアップ³や、人の書いた詩や曲を歌うのは好きじゃない」としていたものの、この頃から少しずつタイアップが増え、自身の作詞作曲以外の楽曲も歌うようになる。それに伴いますます斉藤の認知度は上がり、ヒット曲を作り出していく。その第一歩となった曲が『ウェディング・ソング』（作詞：一倉宏、作曲：斉藤和義）だ。この曲は結婚情報誌「ゼクシィ」（リクルート）の CM のため一倉が作詞し、その一倉の熱望によって斉藤が

² KAZUYOSHI SAITO LIVE TOUR 2014 “RUMBLE HORSES” での発言による。

³ 「提携」や「結びつき」を意味する。ここではテレビ番組や CM、映画等の主題歌やテーマソングなどに楽曲を提供したり書き下ろしたりすることを指す。

作曲し歌うこととなった。オリコンでは 16 位を記録し、自身のそれまでリリースしたシングルの中で最も良い結果となった。その後も『やあ 無情』（作詞：斉藤和義、中島信也、作曲：斉藤和義）と『おつかれさまの国』（作詞：一倉宏、作曲：斉藤和義）が「アリナミン」（武田薬品工業）の、『ずっと好きだった』（作詞・作曲：斉藤和義）が「IN&ON」（資生堂）の CM ソングとなりこれらもヒットを記録した。

1-4-1 『Phoenix』

『ずっと好きだった』がリリースされる約 1 年前の 2009 年、かつてから斉藤和義と親交のあったロックミュージシャンの忌野清志郎⁴が亡くなった。この頃から、斉藤の曲に込められる思いがまた少しだけ変化を見せている。インタビューで斉藤は、「敬愛する忌野清志郎さんが亡くなったことでいろいろ考えた。彼も 40 歳を過ぎて、唐突に夢を持とうとかラブ&ピースとか言い出した。俺も 40 歳を過ぎて、そういうことを口にするに照れがなくなってきたので、積極的に

なくともやっぱりラブ&ピースがいいとの思いを歌に託せると思った」（朝日新聞×マイナビ転職 HP）と述べている。言葉の通り、この頃から自分の身の回りの出来事だけではなくそれを含めた社会についても歌にするようになっていく。忌野に捧げるだけでなく、忌野がいなくなってしまった今、残された自分たちが忌野の思いを受け継ぐという決意表明ともとれる『Phoenix』（作詞・作曲：斉藤和義）が、忌野が亡くなって 4 か月後にリリースされたアルバム『月が昇れば』に収録されている。「ボクらはここで声を聞いている／アナタが残したアツイ愛のメッセージを」、「ボクらはここで音を聞いている／アナタがくれた愛と平和のメッセージ」を再確認し、「どうかその燃える翼でボクらを照らしてください」と忌野が照らす道を進もうとしているのである。

図 1-5 忌野清志郎と斉藤和義（右）



出所：YouTube

1-4-2 『やさしくなりたい』

おそらく、斉藤和義をあまり知らないけれどこの曲なら聞いたことがある、という人は多いのではないだろうか。『やさしくなりたい』（作詞・作曲：斉藤和義）は 2011 年の大ヒットドラマ『家政婦のミタ』（日本テレビ）の主題歌であり、斉藤和義の最大のヒット曲である。この曲のヒットに伴い、2012 年の NHK 紅白歌合戦に初出場を果たした。

実はこの曲には、東日本大震災を受けた斉藤の思いが秘められている。後述する『45 STONES』のアルバムには震災に関わる斉藤の強い思いが全面に表れているが、そこに表

⁴ RC サクセッションを筆頭に、ソウル・ブルースをベースとしたロックサウンドを展開していた。2009 年に満 58 歳で亡くなる。

れている思いとは異なったものが『45 STONES』の後にリリースされた『やさしくなりたい』に込められているのである。「愛なき時代に生まれたわけじゃない／強くなりしたい／やさしくなりたい」という部分は、崩壊寸前の家庭と家政婦との絆というドラマのストーリーに沿っている。それに加え、震災ですべてを失った人たちが再生していく、立ち直っていくというメッセージもこのドラマに込められており、その部分と震災を通じて斉藤が感じた日本の力や愛、そして自分自身も改めて強くやさしくなりたいとの思いが重なっている。震災の混乱の中、「自分ばかりじゃ／虚しさばかりじゃ」前には進めないの

図 1-6 斉藤和義とドラマキャスト



出所：BIGLOBE 音楽芸能ニュース

1-5 斉藤和義の20年

デビューからおよそ20年、斉藤和義の楽曲は曲調が変わっただとか、歌い方が変わったとかいう長年活動してきたアーティストにありがちな変化はほとんど見られない。曲に込められている思いの中にも矛盾はない。自分以外の人で作った曲を歌ったりタイアップソングを作ったりするという小さな変化はあったものの、その結果斉藤和義というアーティストの質は確実に上がっている。

斉藤はあらゆるインタビューの中で、自らの歌は愚痴のようなものであったり、日記の延長のような身近な出来事を脚色して歌ったものであったりするので、旗振りになるつもりはないと述べている。しかしここ数年の斉藤の楽曲からは、歌詞や曲調が多様である背景には「ラブ&ピース」という1つのテーマがあるように感じられる。

次章では、斉藤が先述の忌野清志郎から受けた影響や「ラブ&ピース」をより一層歌に込めるようになったきっかけについて、2つの出来事から考察をしていく。

第2章 2つの原子力関連事故

2-1 東海村 JCO 臨界事故

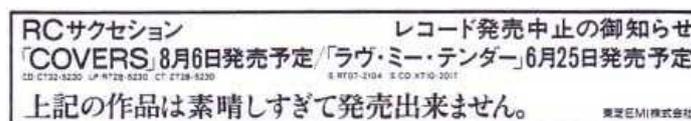
1999年9月30日、核燃料加工施設での核燃料加工中、ウラン溶液が臨界状態に達したことにより核分裂連鎖反応が起こるといふ、東海村 JCO 臨界事故が発生した。この事故では、国内で初めて事故被ばくによる死亡者を出した。事故現場となった茨城県東海村は斉藤和義の地元である栃木県壬生町と 65km ほどしか離れていないということもあり、斉藤はこの事故に大きな危機感を抱いた。

2-1-1 『青い光』

『青い光』（作詞・作曲：斉藤和義）は、2000年にリリースされた斉藤の7枚目のアルバム『COLD TUBE』に収録されており、斉藤が初めて自身の反原子力の思いを CD の中に収めたものである。この曲は 1999年に発生した東海村 JCO 臨界事故を受けて作られた。曲の中では、何度も「青い光を見たんだ」と歌っている。この「青い光」とは、東海村 JCO 臨界事故の原因となった核燃料の加工作業を行い、事故で被曝、死亡した作業員の「青い光を見た」という事故直後の証言が元になっている。原子力や事故などを直接指すような言葉は使われておらず、この「青い光」からそれらをイメージすることができる。当時デビューから 7年ほどしか経っていなかった斉藤にとって、ストレートな言葉で反原子力の考えを歌うことは少しリスクが大きいと感じていたのかもしれない。比較的わかりやすい歌詞を用いる斉藤だが、この『青い光』は非常に読み解くことが難しい歌詞になっている。斉藤の頭には、1988年に発売予定だった忌野清志郎をリーダーとするロックバンドの RCサクセションのシングル『ラヴ・ミー・テンダー』（作詞：忌野清志郎、作曲：エルヴィス・プレスリー、ベラ・マトソン）

とアルバム『COVERS』が、露骨な反原発を歌った曲が収録されていることを理由に発売中止となったことが浮かんでいたのかもしれない。

図 1-7 『COVERS』発売中止を知らせる朝日新聞広告



出所：ざまあみやがれい！

また、「青い光を見たんだ／いつも通りにやったんだ」という歌詞からは、斉藤の事故に対する怒りが隠れている。事故原因となった、マニュアルから外れた方法⁶での加工作業を「いつも通りにやった」結果がこのありさまだ、なぜそのいつもの作業方法を見直さなかったのか。そしてこの曲の最後、「今日も髪がたくさん抜けた」というフレーズは、難解な歌詞の中で最もストレートな表現であるとともに、聞き手に非常に強烈な印象を与え

⁵ 1956年にリリースされたエルヴィス・プレスリーのヒット曲が原曲となっており、これに忌野がオリジナル詞をあてたもの。

⁶ ウラン化合物の粉末を溶解する際、本来使うべき専用装置を用いず、ステンレス製バケツを用いるという「裏マニュアル」を使用していたことが事故原因とされている。

る。

この曲からうかがえるのは、東海村 JCO 臨界事故をきっかけに原発の安全神話が崩壊したことに斉藤が気づいたということである。自分自身を含め、人々はその神話に騙されていた。事故被ばくによる死亡者を出してもまだ、原発は安全ということはできないのだ。事故の状況をイメージさせるような歌詞を用いることで、安全神話がまやかしであることを示した。

2-2 福島第一原子力発電所事故

2011年3月11日、宮城県仙台市の東方沖 70km の太平洋海底を震源とする地震が発生した。この地震の揺れと津波が原因となり外部電源を失った東京電力福島第一原子力発電所はメルトダウンを起こし、その結果発生した水素によって原子炉建屋の爆発を引き起こしたり放射能漏れが発生したりすることとなった。この事故以降、斉藤の楽曲の背景に「ラブ&ピース」が見え隠れするようになる。

2-2-1 『ずっとウソだった』

2011年4月7日、ある動画が YouTube にアップされた。カウボーイハットにサングラス姿の斉藤和義と思われる人物が、原発、政府、電力会社への批判を歌った。「俺たちを騙して／言い訳は想定外」、「ほんとウソだったんだぜ／原子力は安全です」、「ずっとクソだったんだぜ／東電も北電も中電も九電も」など辛辣な言葉が並ぶ。その後、動画の人物が実際に斉藤和義であることが発表され、動画は YouTube から削除された。この曲は後に『ずっとウソだった』と呼ばれるようになった。ヒット曲をいくつも作り出し、社会への影響力の大きいアーティストがこのような曲を歌ってはならない、自身のヒット曲を「ダシ」にしている、反原発よりも現場で必死になって働いている電力会社への応援ソングを歌うべきだ、などという批判があがった。それと同時に、反原発という芸能界ではどこかタブー視されている意見を堂々と歌ったことへの称賛や彼を擁護する声も多かった。動画は削除されたものの、後のチャリティーライブなどでこの曲は何度か演奏された。しかし、オリジナル版で実際の電力会社名が歌われていた部分はイニシャルに置き換えられた。

この『ずっとウソだった』は、先述した RC サクセッションの『ラヴ・ミー・テンダー』のアンサーソングになっている。放射能なんて気にせずに「牛乳を飲んでえ」⁷という忌野に対し、斉藤も「ほうれん草食いてえなあ」と歌う。また、国民の立場から「何言ってんだー／よせよ／だませやしねえ」という忌野に対し、斉藤は政府の立場から「やっぱバレてしまったな」という。原発への怒りをそのまま曲にぶつけている『ラヴ・ミー・テンダー』に対して、『ずっとウソだった』からは怒りとともにどこか無力感ややるせなさが感じられる。なぜなら、斉藤がこの曲を作ったときにはもうすでに「風に舞う放射能もう止められ

⁷ チェルノブイリ原発事故当時、放射性物質に汚染された牛乳を飲み続けたことによる健康被害が問題となった。

ない」状況になってしまっていたからだ。だからこそ斉藤からは「もうどこにも逃げ場はない」という言葉が出てきたのである。しかしそんな心情を持ちつつも、斉藤は「何かをしたいこの気持ち」を抱いている。その「何か」というのが『ずっとウソだった』を歌うことであったと考えられる。

斉藤の『ずっとウソだった』と RC サクセッションの『ラヴ・ミー・テンダー』は、2011年6月の米ニューヨークタイムズ紙に取り上げられている。毎週木曜日のアート・音楽欄に「Japan's New Wave of Protest Songs (日本のプロテストソングに新しい動き)」という記事が掲載された。記事では初めに RC サクセッションの忌野清志郎について「2009年に亡くなったが、再び日本で物議を醸している」と述べている。「福島第一原子力発電所の事故後、彼が歌った反原発ソングはテレビやラジオでは流れないものの、YouTube の再生回数が増加するなど注目されている」として、『ラヴ・ミー・テンダー』の歌詞も紹介されている。そして斉藤の『ずっとウソだった』についても、原曲は斉藤のヒット曲であることやレコード会社によって YouTube に流出した（とされている）『ずっとウソだった』の動画が削除されたことが書かれていた。この記事により、日本において原発の安全神話が崩壊し始めていることが世界中に知られることになったのだろう。

この曲で斉藤は、安全神話を作り上げた政府や電力会社への怒りを全力でぶつけている。安全神話を「ウソ」として、「俺たちを騙して／言い訳は『想定外』」と歌い、自分たちを騙してきた人々を痛烈に批判した。国民を騙してきた結果、福島第一原子力発電所事故を起こすことになってしまったことへの斉藤の怒りが全面に表れている。

2-3 小括

東海村 JCO 臨界事故をきっかけに、斉藤は原発の安全神話が崩壊したこと、もしくは崩壊寸前であることに気がついた。チェルノブイリの事故があってもなお安全神話を唱え続ける政府に対し、忌野清志郎が『ラヴ・ミー・テンダー』を突きつけたが、それでもまだ、すでに安全神話が成り立たなくなっていることに気づくことができたのはわずかであった。チェルノブイリの事故当時まだ若かった斉藤も、安全神話の崩壊に気づくことができなかつたうちの1人であろう。しかし東海村 JCO 臨界事故が発生し、斉藤もとうとう安全神話に違和感を覚えるようになった。忌野が「ほんの少しバレてる」と言ったそのまやかしが、「青い光」によって照らし出されてしまったと感じたはずだ。

そして東海村 JCO 臨界事故からおよそ10年が経ち、福島第一原子力発電所事故が起きてしまった。福島での事故をきっかけに、斉藤の怒りは頂点に達した。何十年もの間原子力は安全だと繰り返し続けた結果、福島第一原子力発電所事故という重大な事故を巻き起こしたことに對する斉藤の怒りは計り知れない。当時放射能漏れが発覚し、日本中の人々が不安と恐怖を抱いた。それは斉藤も同じであり、不安、恐怖、怒りが入り混じった結果、『ずっとウソだった』の中では事故で漏れてしまった放射能を「黒い雨」⁸と歌った。行き

⁸ 本来は原爆による放射性降下物の一種を指す。

過ぎた表現だと言う人もいるが、それほどまで人々に不安、恐怖、怒りを与えたことの象徴であるように感じられる。

東海村での事故で明るみに出たまやかしは、10年という月日の中でどうしても人々の記憶が薄れてしまった。斉藤自身も「(東海村 JCO 臨界事故後) 時間がたつにつれ怒りもおさまってきちゃったりだとか、(中略) そういうことをろくすっぽ考えもしないでしてしまったことに対してのすごく後悔した気持ちもあった」(NEWS ZERO, 日本テレビ系) と言う。斉藤は、政府が人々の記憶の風化をいいことに人々を騙し続けてきたことへの怒りを「ずっとウソだった」に詰め込んだ。安全神話を「ウソ」といい、それを振りかざしてきた政府を「クソ」という。本来ならば10年、20年前には綻びが出ていたはずなのに、その「ウソ」は突き通され続けていた。

このことに気づいた斉藤は、すべての怒りを『ずっとウソだった』に詰め込んだのだ。

第3章 NUKE IS OVER

3-1 『45 STONES』

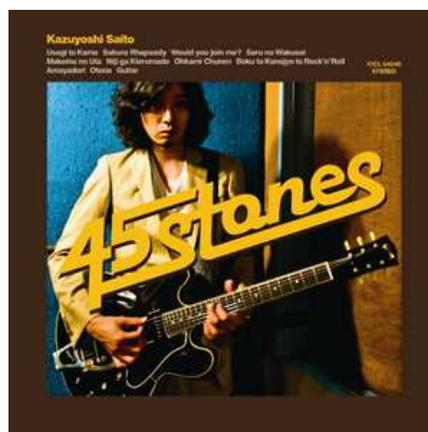
『45 STONES』は2011年10月にリリースされた、斉藤和義の15枚目のアルバムである。このアルバムは2011年1月から3回に分けて制作され、その2回目の制作中に東日本大震災が起こった。震災当日に中止された制作は翌日からすぐに再開された。インタビューで斉藤は「自分にとっての今、つまり自分の身の周りのことや日常が歌になりがちなんです。だから今回は、震災と原発のことは避けて通れなかった」(TOWER RECORDS ONLINE)と述べている。実際収録されている曲の多くに、東日本大震災を受けた斉藤和義の心情がはっきりと表れている。

あまりにもストレートな表現が多く、聞いている方が斉藤のアーティスト生命を心配してしまうほどだ。もしこのアルバムがRCサクセションの『COVERS』と同じころにリリースされていたら、『COVERS』と同じように発売中止になっていたかもしれない。むしろRCサクセションの『COVERS』に収録されている『ラヴ・ミー・テンダー』の方が斉藤の『45 STONES』に収録されている曲よりも表現が柔らかいように感じてしまう曲もある。RCサクセションの場合はレコード会社の親会社が原発に関連していたことも影響していると言われているが、おそらく福島第一原子力発電所事故がきっかけとなり、世の中で反原発の声が高まっていたことで斉藤は『45 STONES』をリリースすることができたのだろう。

これほどまでにこのアルバム全体から斉藤の原発や政府、電力会社への思いが伝わってくる理由として考えられるのが、斉藤の第一子の誕生である。2010年6月、斉藤に第一子が誕生し、それから9か月後に震災が発生した。これまでの曲は、「ホレタハレタのラブ・ソング」が多くみられるが、『45 STONES』にはそのような曲がほとんど見られない。子どもが誕生したことで守るべきものが増え、なおさら原発に対する怒りや危機感が大きくなったのだろう。

しかし斉藤は、「今回、ホレタハレタのラブ・ソングはないけど、それも、今の状況の中では全く浮かばなかったっていうだけ。でも平たくいえばどの曲も、広い意味でのラブ・ソングだと思ってるんですけどね」(TOWER RECORDS ONLINE)と語る。震災で失われた命、原子力事故で奪われた安心などがある今、斉藤なりの表現の仕方「ラブ&ピース」を歌っている。怒りや悲しみばかりが込められているように聞こえて、未来のため、「ラブ&ピース」のために今自分は何をすべきなのか、斉藤が考えに考えた結果が歌われている。

図 3-1 『45 STONES』のジャケット



出所：KAZUYOSHI SAITO

OFFICIAL WEB SITE

ここでは『45 STONES』に収録されている 11 曲の中から原発に対する斉藤の思いが込められている 7 曲を取り上げ、考察を行う。

3-1-1 『ウサギとカメ』

『45 STONES』の 1 曲目に収録されている『ウサギとカメ』（作詞・作曲：斉藤和義）では、震災の 2 日後に作られた。この曲では、テクノロジーだけが先行してしまっている世の中への不安や嘆きが見られる。「移り変わりの激しいこの世の中／目指しているゴールは誰も知らないまま」、「息を切らしてボクが辿り着く頃／紙テープはもう切れてる」という歌詞からは、発展していくテクノロジーとそこに追いつくことができない人間とを表現していると考えられる。原発を「絡み合う利権／後回しの人権／毒で作るエネルギー」と皮肉り、『ずっとウソだった』では触れていなかったマスコミをも「今日も編集されたニュース／見えない恐怖の雨」と批判している。また、『想定外』とされた原発事故のことを彷彿とさせる「進化するテクノロジー／上手く乗りこなせない人間」には、原発に関すること以外にもう 1 つの意味が隠されている。それは、「顔のないヒマ人が今日もチマチマ書き込み」するインターネットへの怒りである。このような「ヒマ人」たちがいることに加え、「今日も編集されたニュース」を報道し「見えない恐怖の雨」の存在を隠している（と思われる）マスコミや政府、そしてタブーに触れることを許してはくれないレコード会社を始めとする「大人の事情」によって「言いたいことも言えないこの世の中」に斉藤の怒りと不満が爆発している。

また、この世の中は「誰かが勝手に決めたスピードで」、「金の亡者が決めたスピードで」動いているという。その結果原発は推進される一方であり、「後回しの人権」も生まれてしまうのだ。

3-1-2 『桜ラブソディ』

2 曲目に収録されている『桜ラブソディ』（作詞・作曲：斉藤和義）は「今日も世の中は三日見ぬ間の桜かな」という歌詞から始まる。「世の中は三日見ぬ間の桜かな」というのは世間の移り変わりの早いことのたとえである。この頃から斉藤は、原発事故のことを政府などがもみ消してしまうのではないかとという恐怖や人々が忘れ去ってしまうことへの危機感を抱いていたと考えられる。また、「ラブソディ」には事実や事件をありのままに表した歌というような意味がある。原発に関連して斉藤が歌うラブソディは政府や電力会社にとって「言わぬが花／知らぬが仏様」である。また、ラブソディを「見ざる言わざる聞かざる」状態の人は「それじゃ奴らと同じだ」と一喝している。「奴ら」という言葉からは、怒りを込めて政府や電力会社などを指していることが伝わってくる。

3-1-3 『猿の惑星』

『猿の惑星』（作詞・作曲：斉藤和義）は『45 STONES』の4曲目に収録されており、斉藤と同じく反原発の姿勢を貫くドラマーの中村達也とともに楽器を鳴らす中で生まれたのである。曲のタイトルにもある「猿」とは、原発についての知識を持たず、呑気に暮らしている国民や地域住民のことを指している。原発を推し進める政府や電力会社に対しての怒りとともに、何も知らずに原発に頼っている人々を皮肉り、かつ自分たちも無知であることへの危機感が見て取れる。この曲では、斉藤と中村の反原発の意思が隠されることなくはっきりと表れている。

ここで歌われている「時代遅れの危ねーカバン」というのは、原子力発電所の事を指していると思われる。この後に「怖くて中身は誰も知らない」と続く。時代は原子力を求めているという斉藤と中村の考え、人々の知識の乏しさや自分の知識のなさへの危機感が感じられる。お金に目がくらみ原子力を容認している人々に対しては、「あぐらかいてても儲かる村じゃ／ご機嫌伺いの猿の群れ」と皮肉たっぷりである。その後も「隠蔽／増税」、「停電／狂言」と原発を批判し、「ガキの使い無能な首脳」、「低能／無能／NO！もう！放射能！」とストレートな言葉で政府批判と反原発を歌う。

3-1-4 『オオカミ中年』

7曲目に収録されている『オオカミ中年』（作詞：斉藤和義、作曲：斉藤和義、中村達也）も『猿の惑星』同様、中村達也との共作であり、反原発色の非常に強い楽曲になっている。曲の中で、何度も「NO NUKES！（原発はいらない）」と叫ぶ。そして政府をイソップ寓話のオオカミ少年になぞらえ、怒りをぶつけている。「安全です」、「事故は起きません」、「飲んでも平気です」、「食べても平気です」、「直ちに影響はございません」などと、ニュースなどでよく耳にした言葉を並べ、それに対して「オオカミが来るぞ！」と何度も歌う。『猿の惑星』と同じように彼らの反原発の意思が包み隠さず表されている。おそらくテレビやラジオでこの曲を耳にすることはできないだろう。

3-1-5 『雨宿り』

9曲目に収録されている『雨宿り』（作詞・作曲：斉藤和義）は、上の4曲に強く表れている怒りのほかに悲しみや呆れ、無力感が感じられる。斉藤は「テレビも新聞のニュースも／誰かに気を使ってばかり」で原発事故に関して正しい報道がされていないと感じており、「そいつを鵜呑みにしてる思考停止の悦楽主義者」たちに怒りを感じていた。そしてまた、「ただひたすら闇雲に『がんばろう！』」ということに違和感を覚えていたのだろう。

この曲には何度も「あなた」が出てくる。「あなたに会いたいよ／今こそここにいてほしい」、「神様は忙しくて／連れてく人を間違えてる」とあるように、この「あなた」はすでに亡くなってしまった人のことを指している。この「あなた」は誰を指すことなのか、明確な答えは不明だが、私は忌野清志郎のことを指しているのではないかと考える。「聞いて

ほしい話を／あなたはと言うだろう」と、この原発事故を忌野清志郎ならどのように歌うだろうかと考え、そして反原発の意思を大きく掲げていた忌野に「今こここにいてほしい」と願ったのではないだろうか。

3-1-6 『おとな』

一見、斉藤がよく歌っているような大人社会に疲れた人への応援ソングのように見える『おとな』（作詞・作曲：斉藤和義）は『45 STONES』の10曲目に収録されている。しかしこの曲には、反原発の意思を思う存分発信することのできないじれったさが表れている。「あれもタブー／そしてこれもタブー」と曲の中で繰り返し、声を大にして斉藤自身の思いを伝えることを周囲から止められていることを匂わせる。そしてこのフレーズの後に「それで何が変わってきたんだろう」と続く。ここで思い浮かぶのは先述したRCサクセションのアルバム『COVERS』である。反原発の思いを強く押し出していることがタブーとされ、『COVERS』はリリースされなかったが、その結果今回のような事故が起こってしまった。反原発ソングなどをタブー視したことで、いい意味での変化は何も起こらなかった。2回目の「あれもタブー／そしてこれもタブー」の後には「それじゃ『がんばれ』って言うしかないだろう」と歌う。『雨宿り』では「ただひたすら闇雲に『がんばろう！』」と言っているだけだと批判していたが、どこかで諦めや納得の気持ちを持っていたことがうかがえる。これについてはTOWER RECORDS ONLINEのインタビューで「心の揺れがそのまま出てくるんじゃないかって？（中略）なんかグルグルだった感じです」と述べている。様々な報道や政府の言葉などを聞く中で揺れ動く斉藤の思いが見て取れる。

3-1-7 『ギター』

『45 STONES』の最後、11曲目に収録されている『ギター』（作詞・作曲：斉藤和義）は斉藤流の応援ソングのようにになっている。つらいことの最中でも、ギターを弾けば「悔しい涙も／虚しい怒りも／冷たい嘘も／忘れてしまうから」と歌う。斉藤の無力感、悲しさ、情けなさなどが含まれているとともに、それでも前を向かなくてはならないという決意の表れのようにも見える。そして「大人にだって／晴れた夜を／子どもにもっと／まぶしい扉を」と、明るい未来を目指そうとしている。

この曲に込められた思いを行動に移すべく、2012年2月から「空に星が綺麗・ギターオークション～被災地の学校へギターを～」というプロジェクトが行われている。「幼いころからギターに慣れ親しんでほしい」という斉藤の願いから、斉藤の所持するギターやライブで使用した衣装などをオークションにかけ、その落札金で新たにギターを購入し、被災地の小中学校などへ復興支援として届ける活動だ。プロジェクト名の「空に星が綺麗」は、1996年にリリースされた同名のシングル『空に星が綺麗』（作詞・作曲：斉藤和義）から由来している。「口笛吹いて歩こう／肩落としてる友よ／いろんな事があるけど／空には星が綺麗」との歌詞から、斉藤がこのプロジェクトによって少しでも復興の力になれば、と

考えていることが伝わってくる。

3-2 MANNISH BOYS

2011年、斉藤和義は先述のドラマー中村達也とロックユニットのMANNISH BOYSを結成した。斉藤と同じく反原発の思いを持つ中村とのユニットだけあり、斉藤はMANNISH BOYS名義でも反原発の思いを歌っている。2011年7月のFUJI ROCK FESTIVALで2人は原発批判を歌った。斉藤和義名義の曲も含めてライブを行い、曲中や曲の合間のトーク部分で原発、政府、電力会社を批判する。

2012年にリリースされた1枚目のアルバム『Ma! Ma! Ma! MANNISH BOYS!!!』に収録されている曲の中には、所々彼らの怒りのメッセージが秘められていると思われる部分がある。ここではそのメッセージが込められているであろう歌詞を含んだ2曲について読み解いていく。

図 3-2 MANNISH BOYS



出所：中村達也 Facebook

3-2-1 『カーニヴァル』

全13曲が収録されている『Ma! Ma! Ma! MANNISH BOYS!!!』の9曲目が、『カーニヴァル』（作詞・作曲：MANNISH BOYS）である。この曲では、電力会社、もしくは政府のことを「死の商人」と呼ぶ。「死の商人」とは、敵味方を問わずに武器を売り、利益を得る人物や組織への蔑称を意味する。斉藤と中村が指す「武器」とは原発のことであると考えられる。原子力発電によって作られた電気を販売している電力会社（政府）である「毒を買わせる死の商人」と「何も言わない骨抜き Media!」に対し、あらゆる言語で「サヨナラ」という。原発は不要だ、という二人の叫びが感じられる。

ライブで『カーニヴァル』が演奏されると、曲中に何度も出てくる「死の商人」の歌詞に合わせて斉藤は中指を立てる。その斉藤に合わせて、観客たちも一緒になって中指を立てる。斉藤は普段、ギターを弾く以外に手を動かすことは少ない。そんな斉藤が、中指を立てるほどの憤りを感じているのだ。

3-2-2 『ないない!』

『ないない!』（作詞・作曲：MANNISH BOYS）は、MANNISH BOYSの曲の中で最もストレートに原発を批判している。「調子のいいこと言ってら/ウソこくんじゃねー!」と二人の怒りがまっすぐに伝わってくる。「みんな忘れた頃だろ」、「そろそろしれっと再稼働」などの原発を容認する声に対して「ないない!」と否定をしているが、その中でも印象的なのがこの曲の最後の部分である。「国民生活を守ることの第1の意味は、それは、時

代を担う子どもたちのためにも、福島のような事故は決して起こさないということであり
ます。／福島を襲ったような地震・津波が起こっても、事故を防止できる対策と体制は整
っています。これまでに得られた知見を最大限に生かし、もし万が一、全ての電源が失わ
れるような事態においても、炉心損傷に至らないことが確認されています。」というセリフ
に合わせ、二人が「ないない！」と歌う。「福島」という地名まではっきりと歌詞に含まれ
ている曲は、斉藤和義名義の曲を含めてもこの『ないない！』が唯一である。連日の報道
を見聞きしながら、二人は「ないない！」と思っているのだろう。

また、2人は「メディアに学者に裁判所」に対しても「ない！」と一喝する。多くが原発
やそれを推し進めた政府、電力会社への批判だったが、その原発と安全神話を作り上げて
いるのが政府と電力会社だけではないことに気がついたのだ。良い面しか報道しないメデ
ィア、都合の悪いことは隠す学者や裁判所へも怒りの矛先が向いた。

3-3 紅白歌合戦

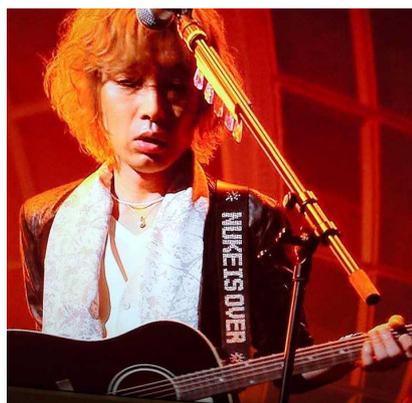
2012年12月31日、斉藤はデビュー20年目にして
第63回NHK紅白歌合戦に初出場を果たした。この
ときに披露した楽曲が、先述の『やさしくなりたい』
である。紅白歌合戦の放送後、大トリを務めたSMAP
や初出場的美輪明宏についての報道が多く見られた
が、実は一部のインターネット上で斉藤のパフォー
マンスが話題となっていた。その理由は、斉藤が使用
していたギターのストラップである。そのストラップ
には「NUKE IS OVER (原発は終わりだ)」の文字が
書かれており、紅白歌合戦という場でそのストラップ
を用いたことに驚きや批判、称賛などの声が上がった。

この年の紅白歌合戦以降、斉藤の出場はない。この
ギターストラップがきっかけとなり、紅白歌合戦には
もう出場できない、出禁になった、などという噂もあるが、おそらくそれは間違いである。
紅白歌合戦の出場機会がないだけであり、2013年以降も複数回にわたってNHKの歌番組
に出演している。また、その際に紅白歌合戦出場時の映像が流れることがあるが、顔の部
分のみが映るようにするなどの映像加工はされておらず、ギターストラップもそのまま映
し出されている。これは斉藤のラブ&ピースへの願いと表現の自由が守られた結果であろ
う。

3-4 小括

前章で述べたように、斉藤は『青い光』で安全神話のウソに気がつき、『ずっとウソだっ
た』でそのウソを人々に信じ込ませてきた政府や電力会社への最大限の怒りをぶつけた。

図 3-3 紅白歌合戦で演奏する
斉藤和義



出所：ベジ漫画 Natsumi の
ビーガン日和

しかし本章で挙げた曲では、その怒りの対象が政府や電力会社などといった原発側だけではなくなっている。斉藤は新たに、騙されていた自分たちにも落ち度があることに気がついたのである。特に『桜ラブソディ』と『雨宿り』の歌詞に、自分たちの落ち度が表れている。2曲とも歌詞の中に、「進化するテクノロジー」について書かれている。パソコンやケータイを始めとして、そのテクノロジーを自分たちは利用してきているが、そのテクノロジーを支えているものは原発によって発電された電力である。さらには、その原発こそが「進化するテクノロジー」そのものだ。その「進化するテクノロジー」を利用している自分たちこそが、原発を非意図的に支えることになってしまっていたのである。

もちろん人々を騙してきた政府などが最も悪であるということが前提にあるが、何十年も前からそのウソの綻びが出ていたにも関わらず、それに気づくことなく、挙句の果てにはその綻びさえも忘れてしまっていた自分たち国民の側にも怒り覚えるようになっていったのだ。そして斉藤自身もその「ウソ」を完全に見抜けなかったことへの後悔の念もにじみ出ている。

また、『ないない!』の中にもあるように、原発と安全神話を作り出しているのが政府、電力会社、騙されていた人々だけではないことも指摘している。「メディアに学者に裁判所」を含め、社会全体で安全神話というまやかしを作り出してしまっていたことへの憤りが表れている。

斉藤はこれらの怒りや後悔などから脱原発を訴え、原子力発電という不安の中での生活からの脱却を願った。おそらくこの事故をきっかけに、斉藤は「平和な生活」というものをより一層求めるようになったのだろう。斉藤はその「平和な生活」というものを考える中で、原発のない社会だけではなく戦争のない世界をも強く求めるようになっていった。次章では、斉藤の求める「ラブ&ピース」の社会について詳しく考察する。

第4章 斉藤和義の「ラブ&ピース」

4-1 斉藤和義の平和への願い

斉藤は東日本大震災とそれに伴う福島第一原子力発電所事故をきっかけに、それまでよりも平和への願いや思いを込めた楽曲を作ることが目立つようになった。『45 STONES』リリース以降のいくつかの楽曲からは、斉藤が国外で起こる争いに胸を痛め、日本で安保法案が推し進められていくことに疑問を投げかけていることが見て取れる。ここでは、斉藤の「ラブ&ピース」への思いが表れている楽曲について考察を行う。

4-1-1 『恋のサングラス』

『恋のサングラス』(作詞・作曲: 斉藤和義、チバユウスケ) は、2013年に発売された斉藤の17枚目のアルバム『和義』の2曲目に収録されている。ロックバンド The Birthday のヴォーカルであるチバユウスケとの共作であり、曲全体から「ラブ&ピース」があふれ出ている。チバは以前から The Birthday において「ラブ&ピース」に関わる楽曲を多く歌っている。この曲は、斉藤とチバが共同で曲を作ることが決まった際、斉藤がメモ程度に単語を並べたものをチバに見せたところ、チバはそのままで歌詞

図 4-1 チバユウスケ (左) と斉藤和義



出所: MUSIC LOUNGE

になっていると言い、出来上がったものである。「戦車からクラッカー／ピストルからシャンパン」、「モナリサ笑ってる／ムンク叫ぶのやめた」とあるように、世界の平和を侵すもの、ネガティブな表情をしているものを斉藤とチバは「楽しいもの」に変えてしまう。2人の言う「恋のサングラス」とは、世界のネガティブな要素を平和に変化させる愛の塊なのである。世界中の誰もがこの「恋のサングラス」を見つけられれば、世界の「ラブ&ピース」も見つかるという、2人の思いや願いが詰まっている。

4-1-2 『NO!』

『NO!』(作詞・作曲: 斉藤和義) は斉藤の最新アルバム『風の果てまで』の初回限定特典CDの1曲目に収録されている。先に述べた『恋のサングラス』とは打って変わり、強い言葉で安保法案を掲げた首相と政府を批判している。首相を「クルクルパーか／おっさん」、政府を「ガキの使い」といい、「やめてくれよ」と繰り返す。前章で扱った『猿の惑星』でも政府のことを「ガキの使い」と表していることから、常日頃斉藤が政府に対する不満や怒りを抱えていることがうかがえる。それに加え、「金／金／金／それしかないの？」とストレートな疑問をぶつける。そして「御先祖様も泣いてるよ」と憲法第9条改

正の動きを暗に批判し、争いのない世の中を願っているのだ。

しかしこの曲は政府に対する批判だけでは終わらない。「咲かせましょう恋の花」、「We say Love tonight」、「Peace Peace Peace」と繰り返し、やはり最後は「ラブ&ピース」を祈っていることがわかる。これほどまでにはっきりと明確に「Love」と「Peace」を歌うことは斉藤としては珍しい。おそらく斉藤の中に、自分の意思を明確に表さなくては再び「ラブ&ピース」から遠ざかってしまうという危機感があったのだろう。しかし、「We say Love tonight」と繰り返す中で一度だけ「I say NO ! tonight」と歌う。繰り返し「Love」と「Peace」を願う中で一度だけ歌うこの「NO !」こそ、斉藤の「ラブ&ピース」への強い思いの表れである。

4-2 斉藤和義の理想とする社会

これまで述べてきたように、斉藤は自身が理想とし、社会に望む「ラブ&ピース」についての思いを楽曲に込めている。ここではまず斉藤が楽曲に託した反原発思いと実際の発言から、斉藤が理想とする社会について考察していく。

RCサクセションの『COVERS』が発売中止となったころ、まだ原発の安全神話の嘘は「ほんの少しバレてる」程度だった。その後東海村 JCO 臨界事故や福島第一原子力発電所事故が起こり、安全神話は崩壊することとなった。斉藤はこの安全神話の崩壊により、原発のない、安心して暮らせる社会を求めて声を上げ、安全神話というまやかしを掲げて国民を騙してきた政府はいらないと批判した。また、国民を騙してきた政府だけではなく、何の知識もないままそのまやかしを鵜呑みにしてしまう人々も変わっていかなくてはならないのだ。もしかすると、東海村 JCO 臨界事故が起こってしまった時点でそのまやかしに気づくことができたら、福島第一原子力発電所事故は違った結果になっていたかもしれない。しかし人々は、事故を記憶の隅に押しやり、いつもの生活に戻ってしまった。先述のように、東海村での事故の記憶が薄れてしまったのは斉藤も同じである。そこで後悔したからこそ、今回ばかりは記憶を薄れさせてはならないという気持ちを曲に込め、歌い続けることで、社会が後戻りしないことを願ったのである。

しかし東日本大震災から 5 年が経過した今、福島第一原子力発電所事故についての報道を耳にする機会が非常に少なくなってしまった。斉藤もファンクラブ会報 *Something-Else* vol.71 で「すっかり空気が変わってしまっていて、変な感じだなんて思う」と述べている。斉藤は第 2 章、第 3 章で考察した曲を歌うことで、今でも理想の社会を目指して声を上げ続けている。

また、あらゆることを自粛して、反原発の意思などの意見を述べるのがいつの間にかタブーになってしまった状況にも疑問を投げかけた。東日本大震災当時は何を見聞きしても「がんばろう」、「絆」という言葉ばかりが並び、社会に異を唱えることがあまり良しとはされなかった。もちろん復興のために前を向いていく必要は十分にある。ただし、前を向くだけで後ろを振り返らなければ、やはり元に戻ってしまう。それに加え斉藤は、「(福

島第一原子力発電所事故に対して) 文句を言わないのなら『また同じことを受け入れるのか?』と同じことだと思う」(NEWS ZERO, 日本テレビ系) と述べている。そこで斉藤は自らの思いを歌に込め、社会が良い方向に進むために意見を述べることでタブー化されない社会を望んだ。

4-3 小括

斉藤和義が願っているのは、原発のない、戦争のない、社会の「ラブ&ピース」である。人は誰も原発や戦争によって生まれる不安の中で日々の生活を送りたいとは思わない。その当たり前のことを斉藤は曲にし、当たり前のことが日常となる社会を望んでいるのだ。2つの原発関連事故、忌野清志郎の死、そして子どもの誕生がきっかけとなり、斉藤は自分の描く理想の社会を思いながら歌を作っている。自分が旗振りになるつもりはないと斉藤は言うが、それでも心のどこかに、自分の歌の力で少しでも理想の社会を目指す志を忘れない人を増やしたいという思いがあるのではないだろうか。原発の事故が起こり、様々な被害等の不安に飲み込まれそうな日々を送りたくないという怒り、子どもが生まれ、守るべきものができた父親としての思い、そして社会に異を唱え続けていた忌野清志郎の死を受け、その遺志を自分も引き継がなくてはならないという覚悟の中で、斉藤は「ラブ&ピース」を歌い続けている。

また、『45 STONES』はオリコンチャートで2位を獲得した。このアルバムには、『ずっと好きだった』や『やさしくなりたい』のようなヒット曲は収録されていない。そんなアルバムがこれほどまでに注目されたのは、それだけ多くの人々が斉藤の理想とする社会を目指したいという思いを抱き、「ラブ&ピース」を求めていたからだろう。

第5章 まとめ

この論文を通して、まずは改めて斉藤和義という人物を知ることができた。斉藤は日記のように歌詞を書いているだけだと言うが、そんな歌詞でも込められている魂が感じられるからこそファンがいて、斉藤の曲を聴く人がいる。特にここ数年の人気上昇ぶりは、曲に隠れているラブ&ピースを多くの人が無意識的に感じた結果であると言えよう。震災や戦争など、不安が多い世の中に生きているからこそ、斉藤の曲に秘められた思いに共感するのである。

しかしその一方で、東日本大震災に関連して斉藤が起こした行動はほとんどと言っていいほど注目されてこなかった。強いて言うならば、YouTubeに『ずっとウソだった』の動画がアップロードされたときは芸能ニュースで報道されていたが、これも大々的には報じられず騒動を知る人は少ない。かなり高い確率で斉藤もしくはその関係者が意図的に動画をインターネット上に公開したと考えられるが、結局は知人に渡した私的な動画が流出してしまったとして片づけられてしまったため、それ以後の報道はされなかった。あまりにも『ずっとウソだった』の歌詞が辛辣であったため、斉藤が芸能界から干されてしまうのではないかと心配したのは私だけではなかっただろう。そんな心配をよそに、斉藤はその後にも精力的に活動を行っていた。斉藤がこのような活動を続けられたのは、やはり世論が反原発に強く傾いていたからである。そのような世論の中でマスコミやレコード会社など、どこかが斉藤を「潰しに」かかれば確実に世論の反感を買ってしまう。斉藤は世論を味方に、自らの愚痴を社会にぶちまけた。ただ、2011年7月のFUJI ROCK FESTIVALのMCで『ずっとウソだった』を「たくさん怒られちゃったやつ」と紹介している。

リスクを冒してまで斉藤がプロテストソングを歌う訳は、ただ、ラブ&ピースがいいとの思いや愚痴のようなものを歌に託した結果であった。リスクがどうのこうのではなく、ただ単に斉藤が歌いたいと思ったからである。震災後、自分の存在意義を見失ったと語っていた斉藤だが、彼は歌うことで「何かがしたいこの気持ち」を伝えることを選んだ。また、ただ自分の思いを歌に託すだけではなく、今は亡き忌野清志郎の後を継ぐという意識もあったはずだ。斉藤と同じようにリスクを顧みず、忌野がレコード会社等からの圧力を受けながらも主張しようとしていた反原発の遺志を斉藤も自らの手で今この時代に主張しなくてはならないと感じていたと考える。そしてその遺志はしっかりと斉藤に受け継がれたのではないだろうか。

そして斉藤は思いを曲に込めることで、理想の社会を思い描いている。ただ、不安のない愛と平和の中で生きていたい。言葉にしてしまえば簡単でありがちな理想だが、その理想を壊している原発や戦争は1人の力ではどうすることもできない。そんなもどかしさも含めて歌にすることで、いつか斉藤が理想とするような社会のなかで暮らせることを皆が願っているはずだ。

斉藤はこれらの曲を歌い続けることで、そして私たちはそれを聞くことで、記憶を風化させず、教訓を生かし、もう二度と同じような過ちは犯さないよう、これからの未来を考えていかなくてはならない。

おわりに

サザンオールスターズの『ピースとハイライト』（作詞・作曲：桑田佳祐）が政権批判の歌詞だとして話題になったが、そのとき私は、斉藤和義はこんなもんじゃないぞ…と思っていた。何しろデビュー曲ですでに「緊張感を感じられない時代さ」と歌っている。いくら27歳で遅咲きのデビューだったとはいえ、社会にケチをつけるアーティストは斉藤のほかに数少ない。斉藤はデビュー当時から現在も「ホレタハレタのラブ・ソング」を歌っており、世間からはどうしてもその点ばかりが注目されてしまう。しかし私は、ここには書けないようないろんな意味で「きわどい」歌こそが斉藤和義の魅力であると思っている。斉藤和義には、これからも等身大の思いを歌に託し続けてもらいたい。

2015年12月、私は斉藤和義のライブに足を運んだ。最新アルバム『風の果てまで』からもなんとなく斉藤の近頃のモヤモヤやいらだちが感じられただけに、アルバム曲以外の『青い光』と『ウサギとカメ』が披露されたとき、私の思い過ごしかと思っていたものが確信に変わった。東海村JCO臨界事故から17年、福島第一原子力発電所事故から5年が経った今、斉藤和義は歌うことで私たちに事故の記憶は薄れていないかと問いかけ、原発再稼働や安保法案可決へと突き進む政府に怒っていた。また少し、斉藤の理想とする社会が遠ざかっている。

謝辞

テーマ設定から迷走を続け、最終的には最も興味を持っていたことについてこの論文を書くことができました。多くの問題を抱え、その分ご迷惑をおかけしてしまった角一典先生には大変申し訳なく思っています。本当にありがとうございました。

参考文献

- ・大畑裕嗣・成元哲・道場親信・樋口直人, 2004, 『社会運動の社会学』有斐閣.
- ・宮沢章夫, 2014, 『NHK ニッポン戦後サブカルチャー史』NHK 出版.
- ・阿部真大, 2013, 『地方にこもる若者たち 都会と田舎の間に出現した新しい社会』朝日新聞出版.
- ・Something-Else, 2015, 『Something-Else vol.71』Rumble Cats.

参照 HP

- ・ KAZUYOSHI SAITO OFFICIAL WEB SITE
<http://www.kazuyoshi-saito.com/>
- ・ マイナビ転職 朝日新聞×マイナビ転職 Heroes File
https://tenshoku.mynavi.jp/knowhow/heroes_file/009
- ・ BIGLOBE 音楽芸能ニュース
http://news.music.biglobe.ne.jp/201109/article_1.html
- ・ TOWER RECORDS ONLINE 斉藤和義 『45 STONES』
<http://tower.jp/article/interview/2011/10/20/TOWER330-HOTPICKS>
- ・ Real Sound アルバム 『風の果てまで』 リリースインタビュー
<http://realsound.jp/2015/10/post-5029.html>
- ・ 音楽ナタリー Power Push 斉藤和義
<http://natalie.mu/music/pp/saitokazuyoshi>
- ・ NEXUS アーティストインタビュー 斉藤和義
<http://www.nexus-web.net/interview/kazuyoshi-saito/>
- ・ ORICON STYLE 音楽特集 斉藤和義
<http://www.oricon.co.jp/special/763/>
- ・ ライブドアニュース インタビュー: 斉藤和義「音楽バカのカッコ良さを喰らいやがれ！」
<http://news.livedoor.com/article/detail/6052175/>
- ・ R25 ロングインタビュー 斉藤和義
<http://r25.yahoo.co.jp/interview/detail/?id=20081120-90005614-r25>
- ・ FUJIROCK EXPRESS'11 MANNISH BOYS (斉藤和義×中村達也)
<http://fujirockexpress.net/11/5663.html>
- ・ The Wall Street News
<http://wstreetnews.com/2011/07/02/%E5%BF%8C%E9%87%8E%E6%B8%85%E5%BF%97%E9%83%8E%E3%81%AA%E3%81%A9%E6%97%A5%E6%9C%AC%E3%81%A>

E%E5%8F%8D%E5%8E%9F%E7%99%BA%E3%82%BD%E3%83%B3%E3%82%B0%E3%82%92%E7%B4%B9%E4%BB%8B%E3%80%80%E7%B1%B3nyt/

- MUSIC LOUNGE

http://www.music-lounge.jp/v2/articl/news/detail/?articl=2014/05/02-16:00:00_5d1dca a0a747cb9ec175415f2452c6e3

- ベジ漫画 Natsumi のビーガン日和

<http://vegemanga.cocolog-nifty.com/blog/2014/01/ele.html>

- ざまあみやがれい！

<http://blog.livedoor.jp/amenohimoharenohimo/>

- 中村達也 Facebook

<https://www.facebook.com/drumsbeast/>

歌詞集
斉藤和義
(曲名掲載順)

僕を見たビートルズは TV の中

作詞・作曲：斉藤和義

欲しい物なら そろい過ぎて時代さ
僕は食うことに困った事などない
せまい部屋でも 住んじまえば都さ
テレビにビデオ、ステレオにギターもある
夜でも街はうっとうしいほどの人
石を投げれば酔っ払いにあたる
おじさんは言う“あのころはよかったな…”
解る気もするけど タイムマシンはない

雨の降る日は、どこへも出たくない
だけど、大切な傘がないわけじゃない
短くなるスカートはいいとしても
僕を見たビートルズは TV の中…

緊張感を感じられない時代さ
僕はマシンガン撃ったことなどない
ブラウン管には 今日まで戦車が横切る
僕の前には さめた北風が吹く
ぬるま湯の中 首までつかってる
いつか凍るの？それとも煮え立つの？
なぜだか妙に“イマジン”が聞きたい
そしてお前の胸で眠りたい…

訳の解らない流行りに流されて
浮き足立った奴等がこの街の主流
おじさんは言う“日本も変わったな…”
お互い棚の上に登りゃ神様さ！

解らないものは解らないけどスツとしない
ずっとひねくれているばっかじゃ能がない
波風のない空気は吸いたくない

僕を見たビートルズは TV の中…

僕を見たビートルズは TV の中…

僕を見たビートルズは TV の中…

歩いて帰ろう

作詞・作曲：斉藤和義

走る街を見下ろして のんびり雲が泳いで
く
誰にも言えないことは どうすりゃいい
の？おしえて

急ぐ人にあやつられ 右も左も同じ顔
寄り道なんかしてたら 置いてかれるよ
すぐに

嘘でごまかして 過ごしてしまえば
たのみもしないのに 同じ様な朝が来る

走る街を見下ろして のんびり雲が泳いで
く
だから歩いて帰ろう 今日歩いて帰ろう

嘘でごまかして 過ごしてしまえば
たのみもしないのに 同じ様な風が吹く

急ぐ人にあやつられ 言いたい事は胸の中
寄り道なんかしてたら 置いてかれるよ
いつも

走る街を見下ろして のんびり雲が泳いで
く
僕は歩いて帰ろう 今日歩いて帰ろう

歌うたいのバラッド

作詞・作曲：斉藤和義

嗚呼 唄うことは
難しいことじゃない
ただ声に身をまかせ
頭の中をからっぽにするだけ

嗚呼 目を閉じれば
胸の中に映る
懐かしい思い出やあなたとの毎日

本当のことは歌の中にある
いつもなら照れくさくて
言えないことも

今日だってあなたを思いながら
歌うたいは唄うよ
ずっと言えなかった言葉がある
短いから聞いておくれ
「愛してる」 ah...

嗚呼 唄うことは
難しいことじゃない
その胸の目隠しをそっと外せばいい

空に浮かんでる言葉をつかんで
メロディを乗せた雲で
旅に出かける

情熱の彼方に何がある？
気になるから行こうよ
窓の外には北風が
腕組みするビルの影に吹くけれど

ぼくらを乗せて メロディは続く…

wow wow...

今日だってあなたを思いながら
歌うたいは唄うよ
どうやってあなたに伝えよう
雨の夜も 冬の朝もそばにいて

ハッピーエンドの ah
映画を今イメージして唄うよ
こんなに素敵な言葉がある
短いけど聞いておくれよ
ah 「愛してる」

喜びの唄

作詞：斉藤和義

作曲：斉藤和義

チャーリー・ドレイン

またルーレットが回りだす
ずっとさっきから黒ばかり
僕の描いていた未来はいつの間にか
大人みたいになったのか
喜びの唄 歌いたいよ今夜

僕が赤なら君は黒
もしもゼロなら はじめから
僕の描いてる自由な生き方は
君なしでは 色がない
喜びの唄 歌いたいよ今夜

終わらない唄の続きはまだラララ

すれ違う 太陽と月
真ん中を 探して 砂漠

傷だらけの日々はもう

終わったんだよ この夜に
僕らの描いてる夢は石の中に
ダイナマイトに火をつける
喜びの唄 聞かせたいよ今夜
忘れてた唄 思い出したんだ

また始めから すぐ行こうじゃないか
終わらない唄が また聞こえてくる
体中にあふれだす 銀玉にまたがって
回るルーレット 赤と黒
ゼロになってくちづけ
強くない君の悲しみよさらば

ウェディング・ソング

作詞：一倉宏

作曲：斉藤和義

ああ 君に贈る ことば探し
眠れなかった
ああ 思い出より あたらしい日々
美しくあれ

ここにいる人々
ここにいない友達も
きっと 君の名前
呼んでるだろう
その胸に 灯すだろう

おめでとう それだけ
言えばあとは こみあげる
たとえば あぎやかな
夜明けのように
ただ その風のように

ああ 白い花が 揺れて笑う

とてもきれいだ
ああ 出会う不思議 愛する不思議
扉をあけて

そのひとを選んだ
人生がいまはじまる
誰もしあわせしか
いないだろう
それだけを祈るだろう

しあわせのその日に
ひとはなぜ震えて泣く
あんなに輝いた
笑顔のあとで
こんなに愛されながら

そのひとと選んだ
人生がいまはじまる
誰もしあわせしか
いないだろう
それだけを祈るだろう

しあわせのこの日に
君はなぜ震えて泣く
世界でいちばんの
笑顔のあとで
世界に愛されながら

やあ 無情

作詞：齊藤和義

中島信也

作曲：齊藤和義

やあ 無情 また会ったな だけどオマエ
に用はないぜ

やあ 無情 どっか行けよ どうせオレが
バカなんだから

話しかけるな 顔を見せるな いいかげん
後ろについてくんなよ

ヘラヘラすんな ニヤニヤすんな もうそ
の手を放してくれ

やあ 無情 切ないな またオマエの仕業
なんだから

でもあの女（ひと）にだけは手を出すな！

どんなに頑張ってみても どんなに愛して
も

あなたに届かない 何かが届かない

明日は夜が明けるよ その夢の闘いも

やあ 無情 また会ったな なにを探して
いるんだい

やあ 無情 どっか行けよ また誰かを傷
つける気だろ

転んだ人の背中の上で 澄ました顔して
ダランダーラ

自分が一番 この世で一番 忙しそうに
ダランラン

やあ 無情 切ないな またオマエの仕業
なんだから

でもあの女（ひと）にだけは手を出すな！

ここは今どこなんだろう どこまで来たん
だろう

あなたはすぐそばで ただ笑っているね
明日は夜が明けるよ その夢の闘いも

やあ 無情 星がきれいだ ごめんね 愛
しい やさしい女（ひと）

どんなに頑張ってみてお どんなに愛して
も

あなたに届かない 何かが届かない

明日は夜が明けるよ 破れかけた運命も

ここは今どこなんだろう どこまで来たん
だろう

後ろをついてくる よく似た影法師

物語は続くよ この夢の闘いも

おつかれさまの国

作詞：一倉宏

作曲：齊藤和義

一日に何度も繰り返す そのことば

もしかしたら「こんにちは」よりも 多い
くらい

そのひとの疲れに「お」をつけて 「さま」
までつけて

「おつかれさまです」と声かける ぼくら
の日々

やさしくて強くて 一生懸命で

生きることはただそれだけでも 大変で
その愛も仕事も大切に 頭をさげて

「おつかれさまです」といいかわす ぼく
らの国

つらいのはわかってる だけどわからない

よ
誰だってそれぞれ 隠した切なさ
ほんとうはいえなくて だから いうのだ
ろう
ありがとう 大丈夫です おつかれさまで
す

泣きたくなることもあたりまえ 坂道は
もうなんども経験したから 慣れてきた
そのひとの涙は拾えない 見ちゃいけない
「おつかれさまです」と微笑んで ぼくら
の旅

こころは強くない だけど弱くもない
いつだって忘れない あのころ見た夢は
ほんとうはいいたくて だから いうのだ
ろう
ありがとう 信じてくれて どうもありが
とう

悪いことばかりじゃないことも 人生で
物語はまだまだつづくよ さあこころ
その夢も不安も闘いも これからだから
「おつかれさまです」といってみる この
ぼくに

つらいのはわかってる だけどわからない
よ
誰だってそれぞれ 隠した切なさ
ほんとうはいえなくて だから いうのだ
ろう
ありがとう 大丈夫です おつかれさまで
す

ほんとうはいいたくて だから いうのだ
ろう

ありがとう 信じてくれて どうもありが
とう

ずっと好きだった

作詞・作曲：斉藤和義

この町を歩けば 蘇る 16才
教科書の落書きは ギターの絵とキミの顔
俺たちのマドンナ イタズラで困らせた
懐かしいその声 くすぐったい青い春

ずっと好きだったんだぜ 相変わらず綺麗
だな

ホント好きだったんだぜ ついに言い出せ
なかったけど

ずっと好きだったんだぜ キミは今も綺麗
だ

ホント好きだったんだぜ 気づいてたろう
この気持ち

話し足りない気持ちは もう止められない
今夜みんな帰ったら もう一杯どう？ 二
人だけで

この町を離れて しあわせは見つけたか
い？

「教えてよ やっぱいいや・・・」 あの日
のキスの意味

ずっと好きだったんだぜ まるであの日み
たいだ

ホント好きだったんだ もう夢ばかり見て
ないけど

ずっと好きだったんだぜ キミは今も綺麗
だ

ホント好きだったんだぜ 帰したくないこ
の気持ち

ずっと好きだったんだぜ 相変わらず綺麗
だな

ホント好きだったんだぜ

ずっと好きだったんだぜ

ホント好きだったんだぜ

ボクらはここで 音を聞いている
アナタがくれた 愛と平和のメッセージ

いつかきっとまた会える 目を閉じれば夢
の中で

そうさまるで不死鳥フェニックス どこま
でも飛ぶ火の鳥

ボクらはすぐ流されてしまう 結局どこに
も行けずに

どうかその燃える翼でボクらを照らしてく
ださい

Phoenix

作詞・作曲：斉藤和義

あの人はきっと鳥になったよ
大空高く舞い上がって
東京の空を 満月の空を
自由自在に“ひとつ飛び”さ！

ボクらはこおで 声を聞いている
アナタが残した アツイ愛のメッセージを

いつかきっとまた会える 目を閉じれば夢
の中で

そうさまるで不死鳥フェニックス どこま
でも飛ぶ火の鳥

ボクらはすぐ忘れてしまう 一番大切な事
を

どうかその燃える翼でボクらを照らしてく
ださい

そっちはどうですか？ ゴキゲンですか？

こっちは今日も 相変わらずです

またどこかで争いが始まりました

見えてるんでしょう？ なんか すいませ
ん…

そっちはどうですか？ ジャムってますか？
ジミヘンとですか？ オーティスとです
か？

こっちは今日も争いが始まりました
見えてるんでしょう？ 愛し合います！

ボクらはすぐに 流されてしまう

結局どこにも 行けないクセに

虹が出ている 火の鳥が飛ぶ

大空高く舞い上がって

東京の空を 大阪の空を ロンドンの空を
リヴァプールの空を

メンフィスの空を ナッシュビルの空を
満月の空を 国立の空を

やさしくなりたい

作詞・作曲：斉藤和義

地球儀を回して世界 100 周旅行
キミがはしゃいでいる まぶしい瞳で
光のうしろ側 忍び寄る影法師
なつかしの昨日は いま雨の中に
やさしくなりたい やさしくなりたい
自分ばかりじゃ 虚しさばかりじゃ

愛なき時代に生まれたわけじゃない
キミといきたい キミを笑わせたい
愛なき時代に生まれたわけじゃない
強くなりたい やさしくなりたい

サイコロ転がして 1 の目が出たけれど
双六の文字には「ふりだしに戻る」
キミはきっと言うだろう「あなたらしいわ
ね」と
「1つ進めたのならよかったじゃないの！」
強くなりたい 強くなりたい
我慢ばかりじゃ 誤魔化しばかりじゃ

愛なき時代に生まれたわけじゃない
キミに会いたい キミに会いたい
愛なき時代に生まれたわけじゃない
強くなりたい やさしくなりたい

地球儀を回して世界 100 周
ボクらで回そう 待っておくれ

愛なき時代に生まれたわけじゃない
キミに会いたい キミを笑わせたい
愛なき時代に生まれたわけじゃない
強くなりたい やさしくなりたい
愛なき時代に生まれたわけじゃない

手を繋ぎたい やさしくなりたい

青い光

作詞・作曲：斉藤和義

真夜中の街を野良犬が走る
月明りの下を何だか楽しそうに
プラスチックビーズのノレンが踊ろうとせ
がんでくる
風は気まぐれ 音も気まぐれ
君と違う道を行って もし同じ場所に着い
たとしたら
溶けたチョコレートは元に戻ると言うの
か？

カーテンを変えるくらいの感じで
イメージは幸せ 幸せのイメージ

このところの早起きはただサイクルがひと
つズレただけ

青い光のデジタル時計は午前八時を指して
いる

シャツに付いたインクは まだ当分取れそ
うにない

窓の前の植物に 名前のカードが刺さって
いる

メガネをはずしているせいで、それは何だ
か解らない

イメージは幸せ 幸せのイメージ

あなたにふさわしい方を紹介してあげよう
いずれ劣らぬ仕事の師たちが 性欲の奴隷
になっていく話だ
あの時の事を思い出していた時 火をつけ
た煙草の灰が指に落ちた
君が眠れば僕は生まれる それは何より悲

しいこと
誰の血も受け入れない 誰かれ構わず受け
入れる

ヒョウ柄の絨緞を床いっぱい敷きつめて
地下鉄が地上に出る瞬間を見たい
イメージは幸せ 幸せのイメージ

青い光を見たんだ
とてもきれいな青だった
ガスマスクの男たちが 僕を人から遠ざけ
た

青い光を見たんだ
とてもきれいな青だった
ヘリコプターがハエのように…うまく思い
出せない…

青い光を見たんだ
いつも通りにやったんだ
今日も髪がたくさん抜けた

ずっとウソだった

作詞・作曲：斉藤和義

この国を歩けば 原発が 54 基
教科書も CM も 言ってたよ「安全です」

俺たちを騙して 言い訳は「想定外」
懐かしいあの空 くすぐったい黒い雨

ずっとウソだったんだぜ やっぱバレてし
まったな
ホントウソだったんだぜ 「原子力は安全
です」
ずっとウソだったんだぜ ほうれん草食い
てえなあ

ホントウソだったんだぜ 気づいてたろう
この時代

風に舞う放射能 もう止められない
何人が被ばくすれば 気が付いてくれる
の？ この国のせい

この町を離れて うまい水見つけたかい？
「教えてよ やっぱいいや・・・」 もうど
こにも逃げ場はない

ずっとクソだったんだぜ 東電も北電も
中電も九電も もう夢ばかりみてないけど
ずっとクソだったんだぜ それでも続ける
気だ

ほんとクソだったんだぜ 何かをしたいこ
の気持ち

ずっとウソだったんだぜ
ほんとクソだったんだぜ

ウサギとカメ

作詞・作曲：斉藤和義

結局最後はどっちが勝ったんだっけな？
やわらかい胸の中で聞いた「ウサギとカメ」
気がつきやもう夕暮れ 今日もあるという
間で
わかっちゃいるのに今日も いつかと同じ

移り変わりの激しいこの世の中
目指しているゴールは誰も知らないまま
息を切らしてボクが辿り着く頃 紙テープ
はもう切れてる

目にも止まらぬスピードで 誰かが勝手に

決めたスピードで
いつか何処かに落とした宝物 探してる
こんなに狭い箱庭で

ほんのちょっと前までパソコンもケータイ
もなかった
でもなんの不自由もなく笑っていたんだ
顔のないヒマ人が今日もチマチマ書き込み
でも気にすることはないさ どうせ名無し
の卑怯者
進化するテクノロジー 上手く乗りこなせ
ない人間
戻れないんじゃないくて 戻りたくないだけ
絡み合う利権 後回しの人権 毒で作るエ
ネルギー
今日も編集されたニュース 見えない恐怖
の雨

言いたいことも言えないこの世の中
小さな声は今日も届かないまま
息を切らしてボクが辿り着く頃 札幌に椰
子の木

目にも止まらぬスピードで ヤワなリーダ
ーが決めたスピードで
いつか何処かに落とした宝物 探してる
こんなに狭い箱庭で

移り変わりの激しいこの世の中
目指しているゴールは誰も知らないまま
息を切らしてボクが辿り着く頃 沖縄に白
い雪

目にも止まらぬスピードで 金の亡者が決
めたスピードで
いつか何処かに落とした宝物 探してる

同じ所

結局どっちが勝ったんだっけな？
やわらかい胸で聞いた「ウサギとカメ」
気がつけばまた紅い夕暮れ
今度帰ったらアイツに聞かせよう

桜ラブソディ

作詞・作曲：齊藤和義

今日も世の中は三日見ぬ間の桜かな 流れ
るラブソディ
それは言わぬが花 知らぬが仏様 溺愛自
己愛
悪の華が咲く お得意の不協和音
渋滞のハイウェイ 出口はあるのに どう
して？

回り回って巡り巡って振り向けば また同
じ場所
ここ掘れ！あっちも掘れ！もっと掘れ！よ
く見れば己の墓穴
悪の華が咲く 世界中から
渋滞のハイウェイ 僕は降りるよ きみも
どう？

モヤモヤお月様 ムズムズとお日様 ごめ
んなさいね
咲くのは悪の華 ぼくらの青い空 取り戻
さなきゃ

グッドモーニング また朝が来た
グッドモーニング 何がホントだ？
グッドモーニング ウソばっかの大本営
グッドモーニング 桜が泣いてる

渋滞のハイウェイ 流れるラブソディ
それは言わぬが花 知らぬが仏様 見ざる
言わざる聞かざる
それじゃ奴らと同じだ
渋滞のハイウェイ そっちは危ないぜ

猿の惑星

作詞・作曲：斉藤和義

時代遅れの危ねーカバン 奴らマネージャ
ンキー
怖くて中身は誰も知らない 奴らマネージャ
ンキー
あぐらかいてても儲かる村じゃ ご機嫌伺
いの猿の群れ

隠蔽 増税 おなじみ不公平 サディステ
ィックモンキー
停電 狂言 どう？今日の湯加減 サディ
スティックモンキー
あぐらかいてても儲かる村じゃ 責任逃れ
で右往左往

ようこそここへ 猿の惑星 海底に沈む大
仏様

ようこそここへ 猿の惑星 血が流れる時
が儲け時

ウッキッキッキ！！ウッキッキッキ！！ウ
ッキッキッキのキ！！

ウッキッキッキ！！ウッキッキッキ！！ウ
ッキッキッキのキ！！

ガキの使い無能な首脳 ステューピットモ
ンキー

喉元過ぎりやまたも煩惱 ステューピット

モンキー
閻魔さんヤツらの舌を抜け ノンキなたわ
言 言えないように

低能 無能 NO！もう！放射能！ロマン
ティックモンキー

洗脳 煩悩 もう目を覚まそう ロマンテ
ィックモンキー

黙ってばかりじゃ思う壺 祈ってばかりじ
ゃ思う壺

ようこそここへ 猿の惑星 砂浜に突き出
る東京タワー

ようこそここへ 猿の惑星 ぼっかり浮か
んだ青い星

ウッキッキッキ！！ウッキッキッキ！！ウ
ッキッキッキのキ！！

ウッキッキッキ！！ウッキッキッキ！！ウ
ッキッキッキのキ！！

ウッキッキッキ！！ウッキッキッキ！！ウ
ッキッキッキのキ！！

ウッキッキッキ！！ウッキッキッキ！！ウ
ッキッキッキのキ！！

オオカミ中年

作詞：斉藤和義

作曲：斉藤和義、中村達也

NO NUKES！

オオカミが来るぞ！オオカミが来るぞ！

オオカミが来るぞ！オオカミが来るぞ！

「電気が足りません」「平和利用です」

「安全です」「安全です」

NO NUKES ! NO NUKES !

オオカミが来るぞ！オオカミが来るぞ！
オオカミが来るぞ！オオカミが来るぞ！
「事故は起きません」「事故は起きません」
「絶対に！」「絶対に！」

NO NUKES ! NO NUKES !

オオカミが来るぞ！オオカミが来るぞ！
オオカミが来るぞ！オオカミが来るぞ！
「飲んでも平気です」「食べても平気です」
「直ちに影響はございません」

NO NUKES ! NO NUKES !

オオカミが来るぞ！オオカミが来るぞ！
オオカミが来るぞ！オオカミが来るぞ！

NO NUKES ! NO NUKES !

雨宿り

作詞・作曲：斉藤和義

あなたに会いたい夜は 風が窓を叩く
庭では野良猫達が 雨に打たれている
聞いてほしい話を あなたはどう言うだろ
う
たぶんあの時のように「気にするな」と言
うかな
テレビも新聞のニュースも 誰かに気を使
ってばかり
そいつを鵜呑みにしてる 思考停止の悦楽
主義者
身分不相応の夢を捨てるつもりもなく た

だひたすら闇雲に「がんばろう！」

あなたに会いたいよ 今こそここにいてほ
しい
神様は忙しくて 連れてく人を間違えてる

やられたらやり返す そしてまたやられ
て・・

テクノロジーが進化して 想像力は退化
底無しの欲望に 振りまわされながら
バーチャルな波を泳ぎ 旅にでも行った気
になって

美味しいもの食った気になって 評論家にな
った気になって

個人情報に傘に隠れ 揚げ足取りに忙しい

あなたに会いたいよ 今こそここにいてほ
しい

神様は忙しくて 連れてく人を間違えてる

あなたに会いたい夜は 風が窓を叩く
庭の野良猫達は何処かで雨宿り

おとな

作詞・作曲：斉藤和義

デカイカバンを引きずって 何を待ってい
るのだろう

中身はなんだい 重くはないかい そんな
大事なもののかい

大人同士の付き合い方は 腹七分目がちょ
うどいい

それはそうかも でもヨイショばかりじゃ
酒も美味くないだろ

あれもタブー そしてこれもタブー それ
で何が変わってきたんだろう
ため息を そのため息を 澄ました顔で狙
うハイエナ

アクビをしている間に また太陽が沈んで
く
君も乗ってるこの船は 誰のものでもない
のに

あれもタブー そしてこれもタブー それ
じゃ「がんばれ」って言うしかないだろう
帰れない？帰りにたくない？初めて知った月
の眩しさ

アクビをしている間に また太陽が昇って
く
君も乗ってるこの船は 誰のものでもない
んだ
このカバンは捨てていこう

ギター

作詞・作曲：斉藤和義

淋しい時にはギターを弾こうよ 下手でも
いいから 願いを込めて
悔しい涙も 虚しい怒りも 冷たい嘘も
忘れてしまうから

大人にだって 晴れた夜を 子どもにもつ
と まぶしい扉を

指先がちょっと痛いけど その気になって
もっとかき鳴らそう

Yeah Yeah Yeah ! Yeah Yeah Yeah

Yeah ! Yeah Yeah Yeah Yeah !
迷路の終わり

このまま朝までギターを弾こうよ 下手で
もいいから 歌も唄いましょう
ほんとは優しい とよりの誰かも 迷える
世界も ひとつになれるかな

重なりあった自由なハーモニー 見つめあ
って もっと恋のメロディ

Yeah Yeah Yeah ! Yeah Yeah Yeah
Yeah ! Yeah Yeah Yeah Yeah !
涙を越えて

F になんて負けないで 自分流に押さえり
ゃいいのさ
夢だけは置いてかないで 譜面なんて気に
しないで

混ざりあった自由なハーモニー 抱きしめ
あつて もっと愛のメロディ
Yeah Yeah Yeah ! Yeah Yeah Yeah
Yeah ! Yeah Yeah Yeah Yeah !
迷路の終わり

Yeah Yeah Yeah ! Yeah Yeah Yeah
Yeah ! Yeah Yeah Yeah Yeah !
涙の終わり

歌詞集
MANNISH BOYS
(曲名掲載順)

カーニヴァル

作詞・作曲：MANNISH BOYS

ドタマグルグル 目指すはカーニヴァル
バックミラーの社会は Crazy!
骨の髄まで食らうコヨーテ
毒を買わせる死の商人

道はジグザグ ギラギラ太陽
けむりもくもく ゲッ! またエンスト?
それとも もしや また Explosion! ?
ハートにロマン 目指すはカーニヴァル
がんじがらめに Have a good night!

ByeBye! 死の商人 ByeBye! 死の商人
アディオス チャイチェン サヨナラ 死
の商人

ハートにロマン 目指すはカーニヴァル
会いに行くのさ Great Sprit!
道はジグザグ ギラギラ太陽
バックミラーの社会は Crazy!

ホコリまみれのジャパニーズレストラン
聞きづらいよな これ何処産?
何も言わない骨抜き Media!
毒を買わせる死の商人
卍固めだ Never good bye!

ByeBye! 死の商人 ByeBye! 死の商人
ByeBye! 死の商人 ByeBye! 死の商人
アディオス チャイチェン ナマステ

ないない!

作詞・作曲：MANNISH BOYS

そんなわけねーだろー! ウソこくんじゃねー!

調子のいいこと言ってら ウソこくんじゃねー!

ないないない! それは ないないない! アホかつ! ないないない!

Hey Hey! そりゃねーだろー! ないないない!

みんな忘れた頃だろ ない!

そろそろしれっと再稼働 ないない!

メディアに学者に裁判所 ない!

今まで通りよろしくね ないない!

そんなわけねーだろー! ウソこくんじゃねー!

調子のいいこと言ってら ウソこくんじゃねー!

ないないない! それは ないないない! アホかつ! ないないない!

Hey Hey! そりゃねーだろー! ないないない!

国民の生活を守る ない!

冷温停止状態 ないない!

収束宣言 ないない! ないない!

電気料金の値上げを ないない!

そんなわけねーだろー! ウソこくんじゃねー!

調子のいいこと言ってら ウソこくんじゃねー!

ないないない! それは ないないない! ア

ホかつ！ないないない！

Hey Hey！そりゃねーだろー！ないないな
〜い！

国民生活を守ることの第 1 の意味は、それは、次代を担う子どもたちのためにも、福島のような事故は決して起こさないということでもあります。

福島を襲ったような地震・津波が起こっても、事故を防止できる対策と体制は整っています。

これまでに得られた知見を最大限に生かし、もし万が一、全ての電源が失われるような事態においても、炉心損傷に至らないことが確認をされています。

歌詞集
RC サクセッション
(曲名掲載順)

ラヴ・ミー・テンダー

作詞：忌野清志郎

作曲：エルヴィス・プレスリー

ベラ・マトソン

何言ってんだー、ふざけんじゃねー
核などいらねー

何言ってんだー、よせよ
だませやしねえ

何言ってんだー、やめときな
いくら理屈をこねても
ほんの少し考えりゃ俺にもわかるさ

放射能はいらねえ、牛乳を飲んでえ
何言ってんだー、税金（かね）かえせ
目を覚ましな
たくみな言葉で一般庶民を
だまそうとしても
ほんの少しバレてる、その黒い腹

何やってんだー、偉そうに
世界の真ん中で
Oh my darling, I love you
長生きしてえな

Love me tender, love me true
Never let me go
Oh my darling, I love you
だまされちゃいけねえ

何やってんだー、偉そうに
世界の真ん中で
Oh my darling, I love you
長生きしてえな